

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価			
データ 分析 表	データ表		データグラフ
	内容	項目数	
	「乳児保育」	15	
	「3歳未満児保育」	32	
	「3歳以上児保育」	53	
	「教育保育の配慮事項」	16	
	「健康・安全」	29	
	「子育ての支援」	18	
	「職員の資質向上」	9	
計	172	4.77	
総合 評価	<p>今年度は園内研修の内容がより質の高い意味のあるものになるよう、計画をもって取り組んでくれた。それにより、職員一人ひとりが思考を巡らせる機会が増え、意識向上に繋がってきたと感じる。教育・保育においては、こどもの学びのプロセスに重点をあて、一人ひとりとじっくり向き合う時間を大切にされた教育保育を、保護者の方にも展示会や参加型の共有会にて、感じていただく機会ももつことができた。フィードバックいただくご意見において、園としての思いが伝わり共感共有し合えたと感じる内容も多くいただき、よりこどもの育ちについて共有する機会の大切さを感じた。次年度は、こども・保育者・保護者・地域が一旦となり質の高い教育・保育を目指していきたいと考える。</p>		

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	「こどもの人権」について考える園内研修を実施していく（年3回）
地域との「信認」の構築	小学校不登校児の受け入れを継続し、学校・保護者・園が情報を共有し、対話する機会を設けていく（年4回）
地域の学校との「信認」の構築	千代が丘小や千鳥が丘小の先生方、民生委員をTCに招待し、法人の取り組みを説明する（年1回）